

ビデオ プロジェクター

取扱説明書

VPL-BW120S

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



© 2012 Sony Corporation

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル..... 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話... 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル..... 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話... 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「203」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、ソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

故障したら使用を中止する

すぐに、ソニーの相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続コードを抜く。
- ③ ソニーの相談窓口にご連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



手を摸まれないよう注意

行為を禁止する記号



接触禁止



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ

目次

警告	4
注意	6
電池についての安全上のご注意	9
使用上のご注意	9

はじめに

付属品を確かめる	12
リモコンに電池を入れる	12
各部の名前と働き	13
本体	13
接続端子	14
リモコンと本体ボタン	15

準備

接続のしかた	18
コンピューターとの接続	18
ビデオ機器との接続	19

映像の投写と画面の調整

映像を投写する	21
映像を調整する	22
電源を切る	24

メニューで行う調整と設定

メニューの操作のしかた	25
画質設定	27
信号設定	29
初期設定	32
メニュー設定	34
設置設定	35
情報	37

その他

インジケータの見かた	38
メッセージ一覧	39
故障かな?と思ったら	40
ランプを交換する	43
エアフィルターを掃除する	45
仕様	46
投写距離	50
寸法図	54
保証書とアフターサービス	56
索引	57



警告

下記の注意事項を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながる可能性があります。



火災



感電

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷ついたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーの相談窓口へ交換をご相談ください。

付属の電源コード、接続ケーブルを使う



注意

付属の電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

容量の低い電源延長コードを使用しない



禁止

容量の低い延長コードを使うと、ショートしたり火災や感電の原因となることがあります。

安全アースを接続する



アース線を接続せよ

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む



指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

電源コードのアース端子からはずした絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、手の届かないところに保管する



注意

万一誤って飲みこんだときは、窒息する恐れがありますのでただちに医師にご相談ください。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

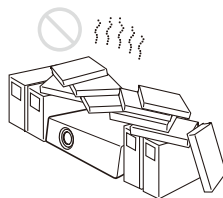
排気口、吸気口をふさがない



禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。十分に通気ができるように以下の項目をお守りください。

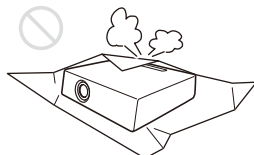
- ・ 周辺の壁や物から離して設置してください(9 ページ)。



- ・ 吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしない。



- ・ 出荷時に包装されているシート、柔らかい布地、書類、毛足の長いじゅうたん、小さい紙などの上に設置しない。吸い上げられて、吸気口がふさがれます。

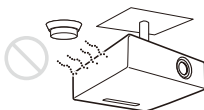


熱感知器や煙感知器のそばに設置しない



禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。



床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない



禁止

それ以外の設置をすると火災や大げがの原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない



禁止

天井への取り付けは必ずソニーの相談窓口にご相談ください(有料)。天井の強度不足、取り付け方法が不十分のときは落下し、大げがの原因となります。

指定された部品を使用する



指示

指定以外の部品を使用すると、火災や感電および故障や事故の原因となります。ランプ、電池、フィルターは指定されたものを使用してください。

内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ランプ交換はランプが十分に冷えてから行う



高温

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、電源を切ってから1時間以上たって、十分にランプが冷えてから行ってください。

ランプ収納部に金属類や燃えやすい異物を入れない



火災



感電

ランプを取りはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

内部を開けない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はソニーの相談窓口にご相談ください。

レンズをのぞかない



禁止

投写中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

天吊りした時、レンズにぶら下がらない



禁止

本機や部品が破壊、落下して、けがの原因となります。

幼児の手の届かない場所に置く



禁止

本体の高温部でやけどしたりする場合があります。お子様がさわらないようにご注意ください。

落下防止をする



指示

天吊りの場合、必ず天吊り用金具を天井にワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。その施工は、専門の設置業者に依頼してください。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり**周辺の物品**に**損害**を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上、あるいは傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

水のある場所に置かない



水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

製品の上にものを載せない



禁止

製品の上にものを載せると、故障や事故の原因となります。特に、水が入ったものをおくと内部に水が入り、火災や感電の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない



禁止

火災や感電の原因となることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない



禁止

火災の原因となることがあります。

本機を立てて置かない



禁止

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

設置の際、本機と設置部分での指挟みに注意する



手を挟まれないよう注意

設置する際、本機と設置部分で指を挟まないように慎重に取り扱ってください。

後脚部調整時に指を挟まない



手を挟まれないよう注意

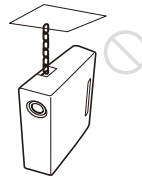
後脚部の調整は慎重に行ってください。後脚部に指を挟み、けがの原因となることがあります。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使用しない



禁止

盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊下げなどの設置に使用したりすると、落下してけがや故障の原因となることがあります。



電源コード / 接続ケーブルに足をひっかけない



注意

電源コードや接続ケーブルに足をひっかけると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

定期的に内部の掃除を依頼する



注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。5年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください(有料)。

特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬・移動は慎重に



注意

- ・床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。
- ・キャビネットのカバーを開けたまま、電源を切らずに移動させないでください。感電の原因となることがあります。

エアフィルターカバーをつかんで持たない



禁止

本機をエアフィルターカバー部分をつかんで持ち上げると、不意にエアフィルターカバーが外れて本機が落下し、けがや故障の原因となることがあります。

本機を運搬するときは落下に注意する



注意

本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。落下するとプロジェクターが壊れたり、ケガの原因となります。

後脚部を運搬や吊り下げ目的で使用しない



禁止

後脚部を運搬用の取っ手代わりに使用したり、吊り下げなどの設置に使用したりすると、本機が落下してけがや故障の原因となることがあります。

天吊り状態でランプまたはフィルターを取りはずす際は周りに人がいないことを確認してから取りはずす



注意

天吊りのままランプまたはフィルターを取りはずす際は落下に注意しないと、思わぬ事故の原因となります。

定期的にエアフィルターを掃除する



注意

掃除を怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

排気口付近に手やものを近づけない



高温

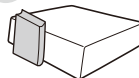
排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置くとやけどや変形の原因になります。

投写中にレンズのすぐ前で光を遮らない



禁止

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。投写を一時的に中断するときには、リモコンを使ってピクチャーミュート機能をお使いください。



キャビネットのカバー類はしっかり固定する



指示

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。

排気口をのぞかない



禁止

光が目に入り、悪影響を与えることがあります。万一ランプが破裂した場合、ガラス片が飛散する可能性があり、けがの原因となることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する



注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。ソニーの相談窓口へランプの交換と内部の点検を依頼してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入った場合は、けがの原因となることがあります。

ランプを傾けて持たない



注意

ランプを傾けて持つと、ランプの破損時にランプの破片が飛び、けがの原因となることがありますので、水平に持つてください。

使用済みランプを破棄する場合



注意

本機のランプの中には水銀が含まれています。使用済みランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

レンズを持って運搬しない



注意

レンズを持って運ぶと、本機が壊れたり、落下してけがの原因となることがあります。

特約店様へ



低い位置に天吊りしない



指示

頭などをぶつけてけがをすることがあります。

電池についての安全 上のご注意

ここでは、本機のリモートコマンダーで使用可能な（コイン型）リチウム電池についての注意事項を記載しています。

⚠ 警告

- ・ 乳幼児の手の届かないところに置く。
- ・ 電池は充電しない。
- ・ 火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしない。
- ・ 電池の（+）と（-）を正しく入れる。
- ・ 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受ける。
- ・ 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ・ ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- ・ 電池に液もれや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- ・ 電池に直接はんだ付けをしない。
- ・ 電池を保管する場合および破棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- ・ 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

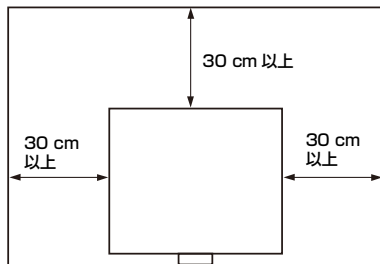
⚠ 注意

- ・ 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- ・ 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- ・ 電池を水で濡らさない。
- ・ ショートさせないように機器に取り付ける。

使用上のご注意

設置について

- ・ 図のように、周辺の壁や物から離して設置してください。



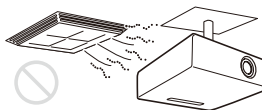
- ・ 左右に15度以上傾けて使用しないでください。



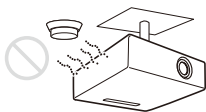
- ・ 温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。



- ・ 空調の冷暖気が直接当たる場所での使用は避けてください。結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。



- ・熱感知器や煙感知器のそばでの使用は避けてください。感知器が誤動作する原因となることがあります。



- ・ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となったりします。



- ・海拔 1500m 以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの高地モードを「入」にしてください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

レンズ、外装のお手入れ

- ・必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- ・布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ・殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ・レンズを素手で触らないでください。
- ・レンズ面のお手入れのしかた：
メガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水を少し含ませて拭きとってください。アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤入洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- ・外装のお手入れのしかた：
柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で拭きしてください。アルコールやベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

部屋の照明について

美しく見やすい画像にするために、直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種のリミックスであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が見れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少の音が生じます。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ランプについて

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、次のような特性があります。

- ・使用時間の経過によってランプの明るさが低下します。
- ・衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- ・個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがあります。
- ・交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなります。
ランプ交換のメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

持ち運びについて

本機は精密機器です。本機を持ち運びするときは、衝撃を与えたり、落としたりしないでください。破損の原因となります。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

警告

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。

アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

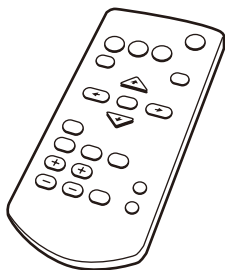
付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

付属品を確かめる

リモコン (RM-PJ7) (1 個)

リチウム電池 CR2025 (1 個)

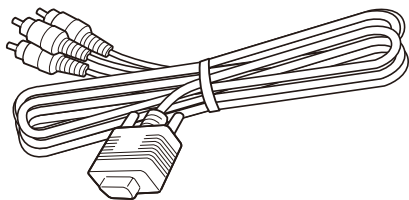
リモコンに装着されています。使用する前に透明のフィルムを引き抜いてください。



電源コード (1 本)

接続ケーブル (D-sub 15 ピン - ピンプラグ × 3) (1.8 m) (1)

(9-885-125-47/Sony)



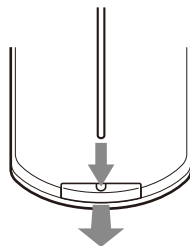
保証書 (1 部)

取扱説明書 (本書) (1 部)

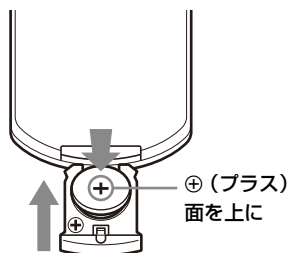
リモコンに電池を入れる

1 リチウム電池入れを引き出す。

図のように細い棒を差し込みながら、電池カバーを手前に引いてください。



2 リチウム電池をはめ込む。



3 リチウム電池入れを差し込む。



警告

電池については、「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

必ず指定の電池に交換してください。使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

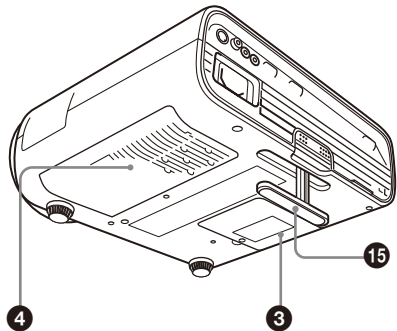
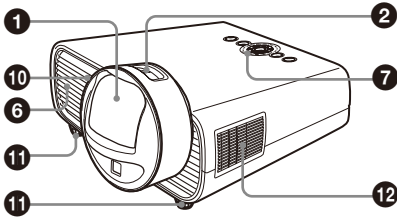
電池の使用について

リモコン (RM-PJ7) には、リチウム電池 CR2025 が 1 個必要です。

破裂の原因となりますので、リチウム電池 CR2025 以外は使わないでください。

各部の名前と働き

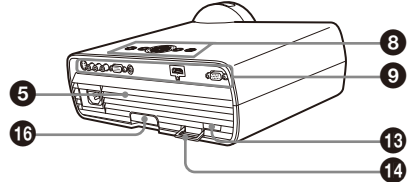
本体



- ① 投写レンズ
- ② フォーカスリング (22 ページ)
- ③ ランプカバー (43 ページ)
- ④ エアークフィルターカバー／吸気口 (45 ページ)
- ⑤ 吸気口
- ⑥ 排気口

警告

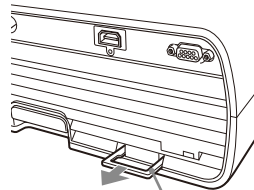
排気口、吸気口をふさがしないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置いたりしないでください。やけどや変形の原因になることがあります。



- ⑦ LAMP/COVER インジケーター (38 ページ)
 - ⑧ 本体ボタン部 (15 ページ)
 - ⑨ 接続端子部 (14 ページ)
 - ⑩ リモコン受光部
 - ⑪ 前脚部 (調整可) (22 ページ)
 - ⑫ スピーカー
 - ⑬ 盗難防止ロック
- Kensington 社製の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。詳しくは、Kensington 社のホームページをご覧ください。
<http://www.kensington.com/>

⑭ 盗難防止用バー

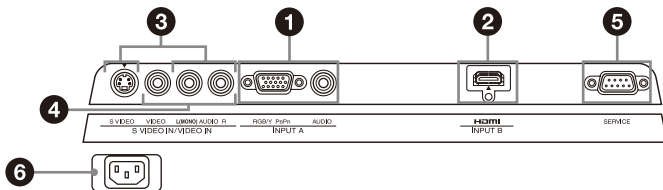
市販の盗難防止チェーン (ワイヤー) などを取り付けることができます。引き出しにくい場合はドライバーなどを使って引き出してください。



盗難防止用バー

- ⑮ 後脚部 (調整可) (22 ページ)
- ⑯ 脚調整ボタン (22 ページ)

接続端子



入力 (18、19 ページ)

- 1 入力 A (INPUT A)**
映像：RGB / Y Pb Pr 入力端子
(RGB / Y Pb Pr)
音声：音声入力端子 (AUDIO)
- 2 入力 B (INPUT B)**
映像：HDMI 入力端子 (HDMI)
音声：HDMI 入力端子 (HDMI)
- 3 S ビデオ (S VIDEO IN)**
映像：S ビデオ入力端子
音声：音声入力端子 (L (MONO)
AUDIO/ R)
- 4 ビデオ (VIDEO IN)**
映像：ビデオ入力端子
音声：音声入力端子 (L (MONO)
AUDIO/ R)

ご注意

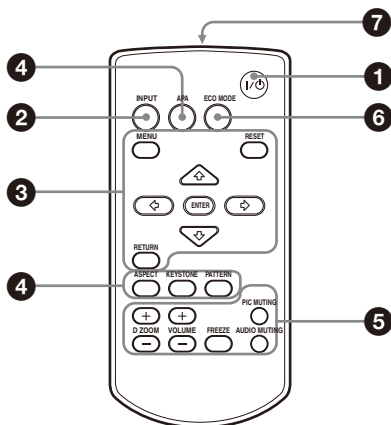
S ビデオとビデオは同じ音声入力を使用します。

その他

- 5 SERVICE**
サービス専用端子です。
一般にはご使用できません。
- 6 電源コンセント (～)**
付属の電源コードを接続します。

リモコンと本体ボタン

リモコン



① 電源を入/スタンバイする
I/O (オン/スタンバイ) ボタン

② 入力を切り換える (21 ページ)
INPUT (入力選択) ボタン

③ メニュー操作などを行う (25 ページ)

MENU (メニュー) ボタン

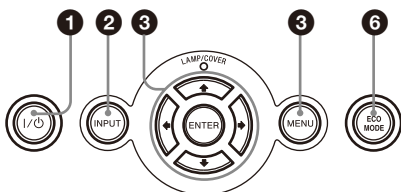
RESET (リセット) ボタン

ENTER (決定) / ↑/↓/←/→ (矢印) ボタン

RETURN (戻る) ボタン

本機では使用できません。

本体ボタン



④ 映像を調整する (22 ページ)

ASPECT (アスペクト) ボタン

KEYSTONE (台形補正) ボタン

PATTERN (パターン) ボタン

本機では使用できません。

APA (オートピクセルアライメント) ボタン*

ご注意

* RGB 入力端子 (入力 A) からコンピュータ信号を入力しているときに使用できます。

5 投写中の便利な機能を利用する

D ZOOM (デジタルズーム) +/- ボタン*1

投写中の映像の一部を拡大します。

1 D ZOOM + ボタンを押し、投写画面上にデジタルズームアイコンを表示する。

2 ↑/↓/←/→ ボタンで、拡大したい映像の位置にデジタルズームアイコンを移動させる。

3 D ZOOM + ボタンまたは D ZOOM - ボタンをくり返し押し、拡大率を変える。
拡大率は1倍から4倍まで変更できます。

RESET ボタンを押すと、元の映像に戻ります。

PIC MUTING (ピクチャーミュート) ボタン

一時的に映像を消します。もう一度押すと解除します。

AUDIO MUTING (オーディオミュート) ボタン

音声出力時に一時的に音声を消します。もう一度押すと解除します。

VOLUME (音量) +/- ボタン

FREEZE (フリーズ) ボタン*2

一時的に映像を静止します。もう一度押すと解除します。

ご注意

*1 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。ただし入力信号の解像度によっては使用できない場合があります。

*2 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。

6 簡単に省エネ設定をする

ECO MODE (エコモード) ボタン

「ランプモード」、「パワーセービング」、「スタンバイモード」の省エネ設定ができます。

1 ECO MODE ボタンを押し、ECO モードメニューを表示する。

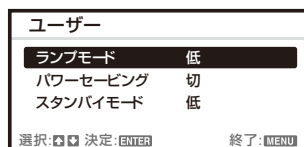


2 ↑/↓ ボタンまたは ECO MODE ボタンを押し、「ECO」または「ユーザー」モードを選ぶ。

ECO: それぞれの設定を最も省エネになる値 (ランプモード: 「低」 / パワーセービング: 「スタンバイ」 / スタンバイモード: 「低」) に設定します。(手順 6 へ)

ユーザー: 省エネ設定を手動で行えます。(手順 3 へ)

3 「ユーザー」を選び、➡ ボタンを押す。設定項目が表示されます。



4 ▲/▼ ボタンで項目を選択し、ENTER ボタンを押して設定項目を選ぶ。

5 ▲/▼ ボタンで設定値を選ぶ。

6 ENTER ボタンを押す。

ユーザー画面に戻ります。

各設定項目の内容について詳細は、設置設定メニューの「ランプモード」(35 ページ)、「スタンバイモード」(36 ページ)、初期設定メニューの「パワーセービング」(32 ページ)をご覧ください。

その他

⑦ リモコン発光部

リモコンの操作について

- ・リモコン受光部に向けて操作してください。
- ・本体に近いほど、操作可能な角度が広がります。
- ・リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

接続のしかた

ご注意

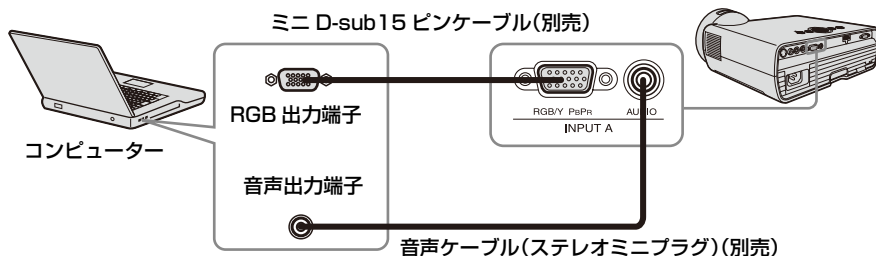
- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ・音声ケーブルは、抵抗なしのものをお使いください。

コンピューターとの接続

コンピューターとの接続のしかたを入力別に説明します。

入力 A (INPUT A)

RGB 出力端子付きのコンピューターと接続します。



ご注意

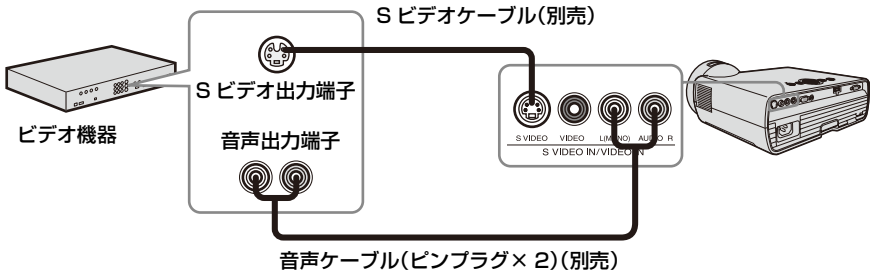
コンピューターの画面の設定で、外部モニターの解像度を 1280 × 800 ピクセルに設定することをおすすめします。

ビデオ機器との接続

VHS ビデオ、DVD プレーヤー、BD プレーヤーなどのビデオ機器との接続のしかたを入力別に説明します。

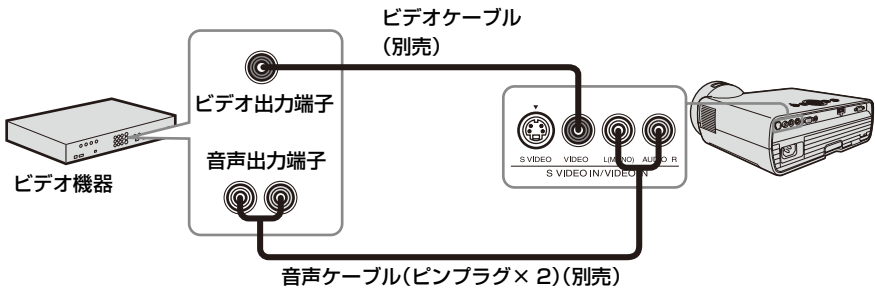
S ビデオ (S VIDEO IN)

S ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。



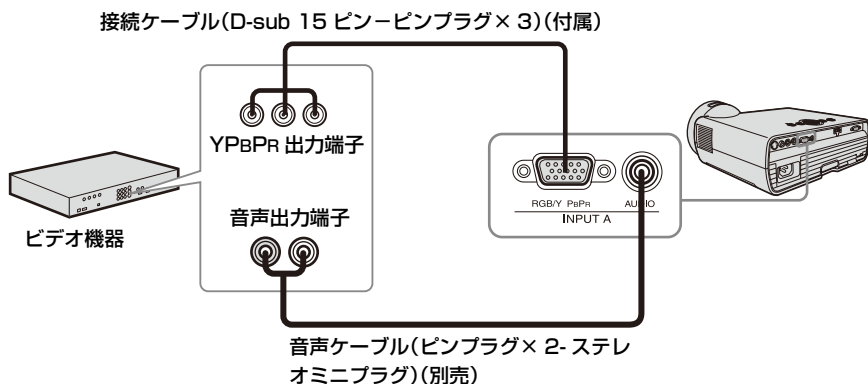
ビデオ (VIDEO IN)

ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。



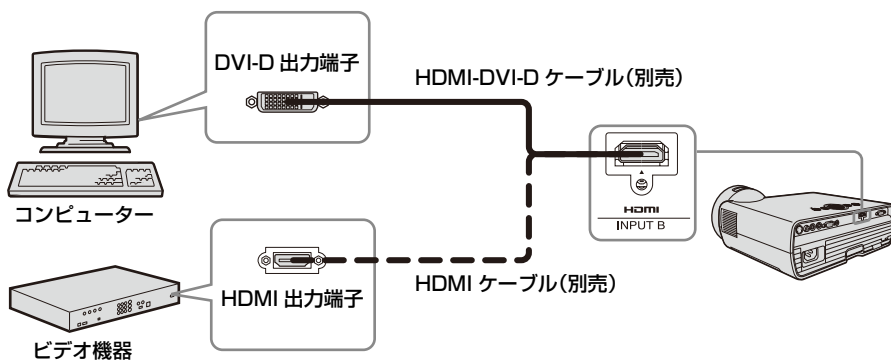
入力 A (INPUT A)

Y Pb Pr 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



入力 B (INPUT B)

HDMI 出力端子付きのビデオ機器と接続します。

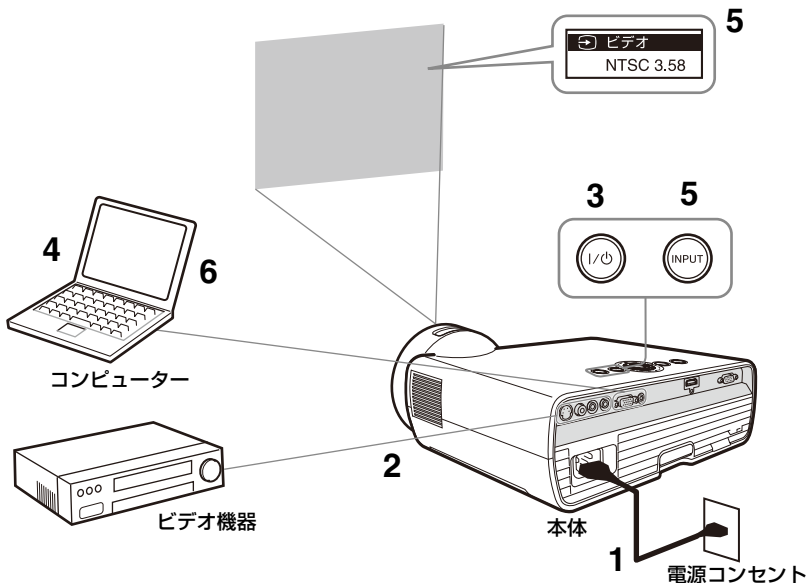


ご注意

- ・ HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・ 本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

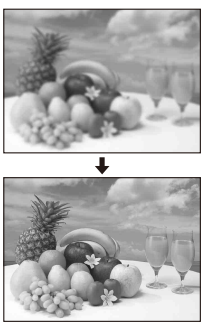
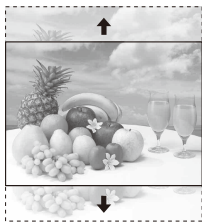
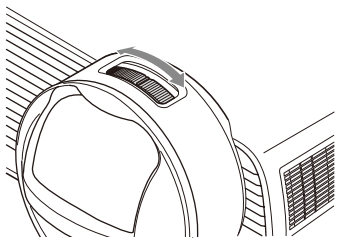
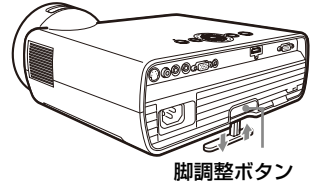
映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離」（50ページ）をご覧ください。



- 1 電源コードをコンセントに差し込む。
- 2 再生する機器と接続する（18ページ）。
- 3 I/O ボタンを押して、電源を入れる。
- 4 再生する機器の電源を入れる。
- 5 投写する映像を選ぶ。
本機の INPUT ボタンを押すたびに、映像が切り換わります。
INPUT ボタンを繰り返し押して、投写する映像を選択します。
- 6 コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。
出力先の切り換えは、コンピューターによって異なります。
(例)
- 7 画面のフォーカス、位置を調整する（22ページ）。

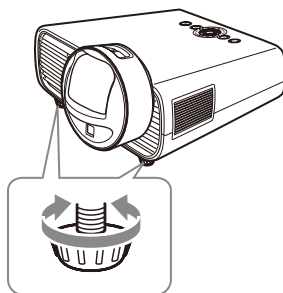
映像を調整する

画面のフォーカス (フォーカス)	画面の位置
	
	 <p>脚調整ボタン</p>

前脚部（調整可）による微調整

脚を回して高さを微調整することができます。

前脚部（調整可）を使ってプロジェクターの傾きをかえることにより投写される画面の位置を調整します。



ご注意

- ・ 後脚部（調整可）を調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- ・ 後脚部（調整可）を出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。

投写画面の縦横比を変更する

リモコンの ASPECT ボタンを押すと投写画面の縦横比が切り換わります。メニューの信号設定のアスペクトからも設定できます (29 ページ、31 ページ)。

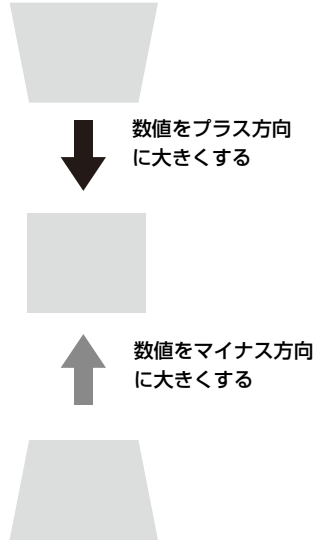
台形になった画面を補正する (キーストーン補正)

通常は、自動的にオートキーストーン補正機能が働き、補正されますが、スクリーンが傾いていたりすると、正常に動作しない場合があります。その場合は、手動でキーストーン補正を行ってください。

- 1 リモコンの KEYSTONE ボタンもしくは設置設定の V キーストーンを選び、調整メニューを表示する。
- 2 ▲/▼/◀/▶ で数値を調整する。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

ご注意

キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。



コンピューター信号入力時に投写画面のフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整する (オートピクセルアライメント (APA))

リモコンの APA ボタンを押す。調整中にもう一度押すと、調整が取り消されます。メニュー (初期設定) のスマート APA で「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します (32 ページ)。

電源を切る

1 本体またはリモコンの I/O ボタンを押す。

確認のメッセージが表示されます。

メッセージに従って、もう一度 I/O ボタンを押してください。

2 電源コードを抜く。

手順 1 のあと、しばらくの間本体を冷やすためにファンが回り続けますが、ファンの停止を待たずに電源コードを抜くこともできます。

確認のメッセージを消すには

本体またはリモコンの I/O ボタン以外のボタンを押すか、しばらくの間何もボタンを押さないでいると消えます。

確認メッセージを出さずに電源を切るには

本体の I/O ボタンを数秒間押し続けてください。

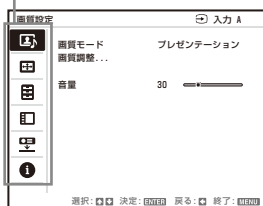
メニューの操作のしかた

ご注意

説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によって異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

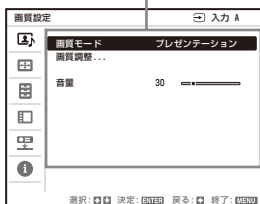
- 1 MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示させる。
- 2 設定したい設定メニューを選ぶ。
▲または▼ボタンを押して設定メニューを選び、▶ボタンまたはENTER ボタンを押す。

設定メニュー



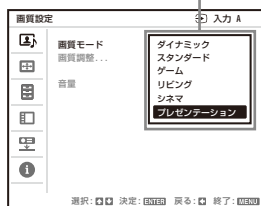
- 3 設定したい項目を選ぶ。
▲または▼ボタンを押して項目を選び、▶ボタンまたはENTER ボタンを押す。
◀ボタンを押すと、設定メニューの選択に戻ります。

設定項目



- 4 設定項目の設定や調整をする。
設定項目によって、設定のしかたが異なります。次の階層が表示された場合は、3の手順に従って設定したい項目を選んでください。
◀ボタンを押すと、設定項目の選択に戻ります。また、設定項目を設定、または調整中にRESET ボタンを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

選択項目



設定メニューの操作：

▲/▼ボタンで項目を選びます。
ENTER ボタンを押すと元の画面に戻ります。

調整メニューの操作：

数値を大きくするときは▲または▶ボタンを押し、数値を小さくするときは▼または◀ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。



5 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

しばらくの間操作をしないと、メニュー画面は自動的に消えます。

🖥️ 画質設定

入力信号ごとに画質を調整します。

項目	項目説明
画質モード	ダイナミック ：明暗のはっきりしたメリハリのある鮮やかな画質になります。 スタンダード ：なめらかな階調の自然な画質になります。 ゲーム ：ゲームに適した画質になります。 リビング ：スポーツ、ミュージック、デジタルビデオカメラなどの素材に適した画質になります。 シネマ ：映画鑑賞に適した画質になります。 プレゼンテーション^{*1} ：プレゼンテーションに適した明るい画質になります。
画質調整...	下記の項目は、「画質モード」ごとに設定値が記憶されます。
コントラスト	数値が大きくなると映像のメリハリが強くなり、小さくなると弱くなります。
明るさ	数値が大きくなると映像が明るくなり、小さくなると暗くなります。
色の濃さ ^{*2、*4}	数値が大きくなると映像の色が濃くなり、小さくなると薄くなります。
色あい ^{*2、*4、*5}	数値が大きくなると映像の色あいが緑がかり、小さくなると赤みがかります。
シャープネス ^{*2}	数値が大きくなると映像の輪郭がはっきりし、小さくなると柔らかくなります。
色温度 ^{*3}	高/中/低 ：高い温度ほど映像が青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。
DDE ^{*6}	切 ：インターレース信号のまま変換せずに表示します。 プログレッシブ ：インターレースのビデオ信号をプログレッシブに変換して表示します。 フィルム ：映画フィルム映像を原画に忠実な映像に再現します。
ガンマモード ^{*1}	グラフィックス ：中間調の再現性が高くなるガンマ補正曲線を選びます。写真を自然な階調で再現します。 テキスト ：白と黒の対比をはっきりさせるガンマ補正曲線を選びます。文字の多い映像に適しています。
音量	数値が大きくなると音量が大きくなり、小さくなると音量が小さくなります。外部音声出力の音量レベルも連動します。

で注意

- *1：コンピューター信号入力時に選択できます。
- *2：ビデオ信号入力時に選択できます。
- *3：画質モードを「プレゼンテーション」以外に設定している場合に選択できます。
- *4：白黒信号入力時には選択できません。
- *5：アナログ TV 信号の場合は、カラー方式によっては選択できない場合があります。
- *6：プログレッシブ信号入力および 1080i 信号入力時には選択できません。

⊞ 信号設定

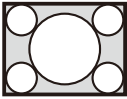
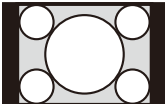
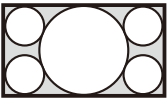
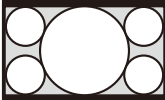
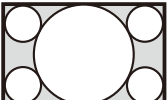

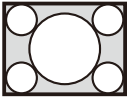
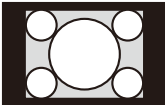
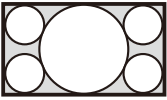
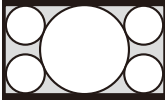
入力信号ごとに、投写画面のサイズ、位置、アスペクトなどを調整します。

項目	項目説明
入力信号調整	コンピューター信号入力時の投写画面を調整します。画面の端が切れていたり、映りが悪い場合に調整します。
ドット フェーズ ^{*1}	入力信号と表示画素の位相（フェーズ）を調整します。一番くつきり見える数値に設定してください。
水平サイ ズ ^{*1}	数値が大きくなると水平方向の表示画素の幅（ピッチ）が大きくなり、小さくなると幅が小さくなります。
シフト ^{*2}	H（水平） ：数値が大きくなると画面が右に、小さくなると左に移動します。 V（垂直） ：数値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。
アスペクト ^{*3}	投写している画面の縦横比が切り換わります。（31 ページ）
コンピュー ター信号入 力時	ノーマル ：拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。 フル 1 ：入力信号の縦横比を維持して画面いっぱいに投写します。 フル 2 ：画面いっぱいに投写します。 フル 3 ：オリジナル画像の縦横比を変えずに、1280 × 760 ドットの範囲に、縦または横いっぱいに投写します。
ビデオ信号 入力時	ノーマル ：縦横比を 4 : 3 に固定して投写します。 フル ：縦横比を 16 : 9 に固定して投写します。 ズーム ：オリジナル映像のアスペクト比を保ったまま、映像を拡大します。 ワイドズーム ：ゆがみを最低限に抑えて映像を拡大します。
オーバースキャ ン ^{*4}	入/切 ：「入」を選ぶと映像の周囲を隠して投写します。映像の端にノイズなどが見える場合に使用します。

で注意

- *1 : RGB 入力端子（入力 A）から入力されるコンピューター信号入力時に選択できます。
- *2 : RGB 入力端子（入力 A）から入力されるコンピューター信号入力時、または Y Pb Pr 入力端子（入力 A）から入力されるビデオ信号入力時に選択できます。
- *3
 - ・ 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
 - ・ 入力信号によって、「アスペクト」の項目または一部の設定項目を設定できない場合があります。また、異なるアスペクトを設定しても同じ映像になる場合があります。
 - ・ 選択した項目によって画面の一部が黒で表示される場合があります。
- *4 : Y PbPr 入力端子（入力 A）、または HDMI 入力端子（入力 B）から入力されるビデオ信号入力時に選択できます。

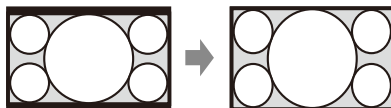
アスペクトについて

	入力信号	おすすめの設定値 とそのときに投写 される映像
コンピュータ信号	「4:3」 	「フル1」*1*2*3 
	「16:9」 	「フル1」*1*2*3 
	「16:10」 	「フル1」*3 
ビデオ信号	「4:3」 	「ノーマル」*4*5 
	「16:9」 	「フル」 

*1:「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



*2:「フル2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。



*3:16:9の信号で、スクリーン表示位置を調整した場合、4:3の信号を入力すると、上下がスクリーンからはみ出すことがあります。そのような場合は、「フル3」を選択してください。



*4:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「フル」を選んでください。



*5:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。



目 初期設定

本機が対応しているさまざまな機能を設定します。

項目	項目説明
スマート APA	入/切 ：「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します。 ^{*1 *2}
オート入力サーチ	入/切 ：「入」を選ぶと、電源投入時または、INPUT キーが押されたときに、入力 A / 入力 B / ビデオ / S ビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示します。
入力 A 信号種別	オート/コンピューター/コンポーネント/ビデオ GBR ：「オート」を選ぶと、入力 A を選んでいるときの映像信号の種別を自動的に選びます。 ^{*3}
カラー方式	オート/NTSC_{3.58}/PAL/PAL-60/SECAM/NTSC_{4.43}/PAL-M/PAL-N ：「オート」を選ぶと、S ビデオ、ビデオを選んでいるときの映像信号のカラー方式を自動的に選びます。 ^{*3}
パワーセービング ^{*4}	ランプオフ ：本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続いた場合に、自動的にランプが切れて消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、ボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプオフ状態では、 I/⏻ ボタンはオレンジ色に点灯します。(38 ページ) スタンバイ ：本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。 切 ：パワーセービング機能を無効にします。
パネルキーロック	入/切 ：「入」を選ぶと、本体ボタンでの操作ができなくなります。ただし、「入」の場合でも以下の操作はできます。 <ul style="list-style-type: none">・スタンバイ状態で、I/⏻ ボタンを約 10 秒押す。 →電源が入ります。・電源が入った状態で、I/⏻ ボタンを約 10 秒押す。 →スタンバイ状態になります。・電源が入った状態で、MENU ボタンを約 10 秒押す。 →パネルキーロックが「切」になり、本体ボタンの操作が可能になります。

項目	項目説明
CC ディスプレイ	CC1 / CC2 / CC3 / CC4 / Text1 / Text2 / Text3 / Text4 : 表示する CC (クローズドキャプション) のサービス (字幕または文字情報) を選択します。 切 : CC を表示しません。
ランプタイマー初期化	ランプを交換したときにランプタイマーを初期化します。(43 ページ)

ご注意

- *1 : RGB 入力端子 (入力 A) からコンピューター信号が入力された時に APA が実行されます。
- *2 : 投写している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると正しく働かず、画像の一部が表示されないことがあります。また、入力信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は手動で「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」を調整してください。
- *3 : 入力される映像信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は、接続している機器に応じて手動で設定してください。
- *4 : 無信号時に自動的にスタンバイ状態にさせたくない場合は、設定を「切」にしてください。

メニュー設定

メニューやリモコンによる操作のための機能を設定します。

項目	項目説明
画面表示	入 ：すべての画面表示が有効になります。 切 ：メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出なくなります。
表示言語	メニューやメッセージなどに使用する言語を設定します。
メニュー位置	左上 ／ 左下 ／ 中央 ／ 右上 ／ 右下 ：メニューの表示位置を設定します。
スタートアップイメージ	入 ／ 切 ：「入」を選ぶと起動時にスタートアップイメージが表示されます。

📏 設置設定

本機を設置するときに使われる機能を設定します。

項目	項目説明
Vキーストーン ¹	<p>オート：自動でキーストーン補正を行います。スクリーンが傾いていたりすると、正常に動作しない場合があります。その場合は、「手動」を選び、キーストーン補正を手動で行ってください。</p> <p>手動：数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。</p>
画像反転	上下左右／左右／上下／切 ：設置方法に応じて映像を水平または垂直方向に反転します。
無信号入力時背景	ブラック／ブルー ：信号が入力されていないときの背景の色を設定できます。
ランプモード	高／低 ：「高」を選ぶと映像は明るくなり、消費電力が高くなります。
高地モード ²	入／切 ：高地（海拔 1500 m 以上）で使用する場合に「入」に設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
セキュリティロック ³	<p>入／切：パスワードを設定し、利用者を制限することができます。セキュリティロックの設定手順は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「入」を選び、ENTER ボタンを押して設定画面を表示する。 MENU、▲/▼/◀/▶、ENTER の 6 つのボタンを使用してパスワードを入力する。（出荷時は“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されています。） MENU、▲/▼/◀/▶、ENTER の 6 つのボタンを使用して新しいパスワードを入力する。 確認のため、もう一度新しく設定したパスワードを入力する。パスワードは、電源コードの抜き差しをしたあと、電源を入れたときに入力します。 <p>「切」を選ぶとセキュリティロックを解除できます。このときも、パスワードの入力が必要です。</p> <p>パスワードの入力に 3 回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合は、I/O ボタンを押して一度スタンバイにし、もう一度電源を入れ直してください。</p>
ダイレクトパワーオン	入／切 ：「入」を選ぶと、電源コードをコンセントに接続したときに、スタンバイ状態を経ずに電源が入るようになります。電源を切るときは、ダイレクトパワーオンの設定に関わらず、スタンバイを経ずに電源コードを抜くことができます。

項目	項目説明
スタンバイモード	標準／低：「低」を選ぶと、スタンバイ時の消費電力が少なくなります。

ご注意

- *1：キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。
- *2：高地モードを「入」にした場合、ファンの回転数が上がり、音が少し大きくなります。
- *3：パスワードが分からなくなった場合、本機を使用することができなくなりますので充分にご注意ください。ソニーの相談窓口にお問い合わせいただくと、パスワードをご案内いたします。その際は、本機のシリアル番号とお客様の確認が必要になります。（確認方法は、販売国／地域によって異なります。）

① 情報

ランプの使用時間など、本機の情報を確認できます。

項目	項目説明
モデル名	本機のモデル名を表示します。
シリアル No.	本機のシリアル番号を表示します。
水平周波数 ^{*1}	現在入力されている信号の水平周波数を表示します。
垂直周波数 ^{*1}	現在入力されている信号の垂直周波数を表示します。
信号の種類	現在入力されている信号の種類を表示します。
ランプ使用時間	これまでのランプの使用時間を表示します。

ご注意

*1：入力信号によって表示されない場合があります。

インジケーターの見かた

インジケーターの点灯により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。異常が発生している場合は、表に従い対処してください。

I/O ボタン

状況	意味／対処のしかた
赤色に点灯	スタンバイ状態です。
緑色に点滅	本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、または電源を切ったあと、冷却している状態です。
緑色に点灯	電源が入っている状態です。
オレンジ色に点灯	パワーセービング（ランプオフ）状態です（32 ページ）。
赤色に点滅	異常な状態です。点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。また、以下の対処を行っても症状が再発する場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
2 回点滅	内部温度が高温になっています。以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか。 ・エアフィルターがつまっていないか（13 ページ、45 ページ）。
6 回点滅	電源コードを抜き、I/O ボタンが消えるのを確認してからもう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
その他の点滅回数	ソニーの相談窓口にご相談ください。

LAMP/COVER インジケーター

状況	意味／対処のしかた
赤色に点滅	点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。
2 回点滅	ランプカバー、またはエアフィルターカバーが確実に取り付けられていません（45 ページ）。
3 回点滅	ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合は、ランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください（43 ページ）。

メッセージ一覧

画面に次のようなメッセージが表示されたら、表に従い対処してください。

メッセージ	意味／対処のしかた	ページ
セット内部温度が高いです。 1分後にランプオフします。	以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていないか。 ・エアフィルターがつまっていないか。	13、45
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	接続先の機器の外部出力設定を本機が対応している信号に変更してください。	49
入力 A 信号種別の設定を確認してください。	「入力 A 信号種別」をオート、または入力されている信号に合わせて設定してください。	32
ランプを交換し、フィルターを掃除してください。	ランプを交換し、エアフィルターを掃除してください。 メッセージは、ランプを交換してランプタイマーを初期化するまで、起動時に毎回表示されます。	43、45
無効キーが押されました。	無効なボタンが押されました。	-
パネルキーロック中です！	パネルキーロックが設定されています。	32

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	対処のしかた	ページ
電源が入らない	電源コードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	—
	「パネルキーロック」が「入」になっていると、本体の I/O ボタンで電源を入れることができません。	32
	ランプまたはランプカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	43
	エアフィルターまたはエアフィルターカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	45
映像が映らない	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	—
	コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。 ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。	21
	入力が正しく選ばれていることを確認してください。	21
	消画（ミュートイング）されていないことを確認してください。	16
画面表示が出ない	「画面表示」が「切」になっていると表示されません。	34
アスペクト（画面の縦横比）がおかしい／画面が小さく表示される／映像の一部が表示されない	「アスペクト」を手動で設定してください。	15、 29、31

症状	対処のしかた	ページ
画面が台形になっている	投写する面に対して斜めに投写していると、画面が台形になります。この場合、キーストーン補正機能を利用して補正することができます。	15、 23、35
	「V キーストーン」が「手動」になっていると自動的にキーストーン補正がされません。「V キーストーン」を「オート」に設定するか、手動で調整してください。	15、 23、35
	スクリーンが傾いている場合、オート V キーストーン補正が正しく機能しない場合があります。「V キーストーン」を手動で調整してください。	15、 23、35
画面が暗い／明るすぎる	「明るさ」、「コントラスト」、「ランプモード」の設定により、画面の明るさが変わります。適切な値になっているか確認してください。	27、35
	ランプが消耗していると画面が暗くなります。「ランプの使用時間」を確認し、ランプを交換してください。	37
画面がぼやける	フォーカスがあっていることを確認してください。	22
	レンズが結露していると画面がぼやけます。結露してしまった場合は、電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。	-
画面にノイズが出る	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	18
音が出ない	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	18
	消音（ミュートイング）されていると音が出ません。	16
	音量が最小になっていないことを確認してください。	16、27
リモコンが機能しない	電池が正しく挿入されていることを確認してください。	-
	電池が消耗していないことを確認してください。	-

症状	対処のしかた	ページ
ファンの音が気になる	<p>以下のような場合は、ランプなどをより冷却する必要があるため、ファンの音が大きくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランプモードを「高」で使用している ・高地で使用している（高地モード：「入」） ・本機の周りの温度が高い場所で使用している 	35
	<p>吸気口、排気口がふさがれていると内部温度が上昇し、ファンの音が大きくなります。</p>	13

ランプを交換する

投写画面にメッセージが表示された場合、またはインジケーターにランプ交換のお知らせが表示された場合は、新しいランプに交換してください。(38、39 ページ)
交換ランプは、プロジェクターランプ LMP-E211 (別売) をお使いください。

⚠ 警告

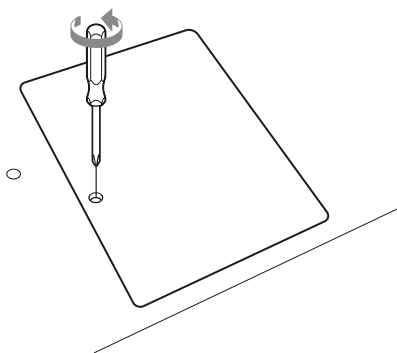
- ・電源を切った直後はランプが高温になっているため、**触れるとやけどの原因**となります。ランプを十分に冷やすため、**本機の電源を切ったあと 1 時間以上たってからランプを交換**してください。
- ・ランプをはずしたあとのランプ収納部に、金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

⚠ 注意

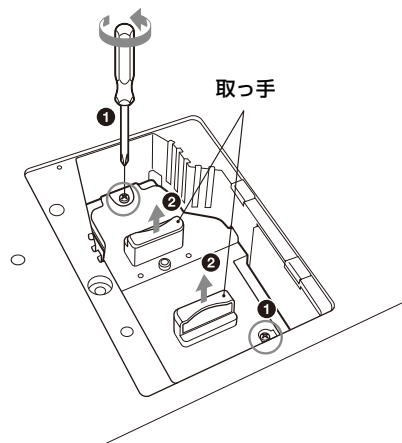
- ・ランプが破損している場合は、ご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ・ランプを取り出すときは、必ず指定された場所を持ち、ランプを傾けずに水平にしたまま取り出してください。指定された場所以外の部分に触れるとけがややけどの原因となることがあります。また、ランプを傾けると、万一ランプが破損している場合に破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 ランプが十分冷えてから、ランプカバーのネジ (1 本) をゆるめ、ランプカバーを開く。

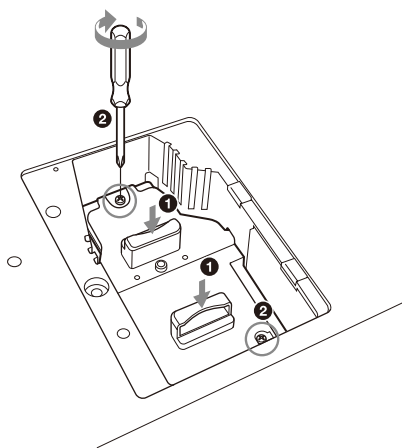


3 ランプのネジ (2 本) をゆるめ、取っ手を持ってランプを取り出す。



その他

- 4 新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジ（2本）を締める。



- 5 ランプカバーを閉じ、ネジ（1本）を締める。

ご注意

ランプやランプカバーが確実に装着されていないと、電源が入りません。

- 6 電源コードを電源コンセントに差し込み、電源を入れる。

- 7 ランプタイマーの初期化を行う。

次回の交換時期をお知らせするために、ランプタイマーを初期化します。初期設定メニューから「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER ボタンを押すとメッセージが表示されます。「はい」を選ぶとランプタイマーを初期化します。(33 ページ)

エアフィルターを掃除する

投写画面にメッセージが表示された場合、エアフィルターを掃除してください。
(39 ページ)

エアフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアフィルターに交換してください。新しいエアフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

⚠ 注意

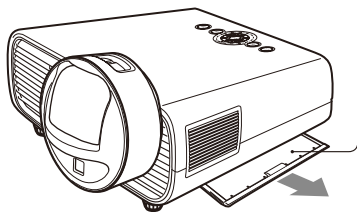
エアフィルターの掃除を怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

- 1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
- 2 エアフィルターカバーを引き出す。
- 4 エアフィルターカバーを元に戻す。

ご注意

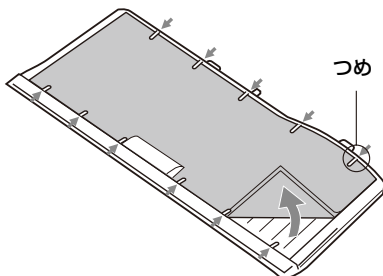
エアフィルターが確実に装着されていないと、電源が入りません。

エアフィルター



- 3 掃除機でエアフィルターを掃除する。

図のようにエアフィルターを取りはずし、エアフィルターを掃除機で掃除してください。



仕様

項目	項目説明
型名	VPL-BW120S
投写方式	3LCD 方式
表示素子	有効表示サイズ 0.59 型 (15.0 mm)、3 枚、アスペクト比 16 : 10 有効画素数 3,072,000 画素 (1280 × 800 ピクセル、3 枚)
投写レンズ	フォーカス調整 手動
光源	高圧水銀ランプ 210 W 型
画面サイズ	50 ~ 100 型 (1.27 m ~ 2.54 m)
有効光束 (明るさ) *1	2600 lm (ランプモード : 高)
スピーカー	2 W × 1 (モノラル)
対応走査周波数 *2	水平 : 19 ~ 92 kHz、垂直 : 48 ~ 92 Hz
表示可能解像度	コンピューター 最大入力解像度 : 1400 × 1050 ピクセル (リサイ 信号入力時 ジング表示) パネル表示解像度 : 1280 × 800 ピクセル
	ビデオ信号入力 NTSC、PAL、SECAM、480/60i、576/50i、480/60p、 576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i
カラー方式	NTSC ₃₅₈ 、PAL、SECAM、NTSC ₄₄₃ 、PAL-M、 PAL-N、PAL60
コンピューター / 入力 A ビデオ入出力	RGB/Y Pb Pr 入力端子 : ミニ D-sub 15 ピン凹、 同期付 G/Y 信号 : 1 V _{p-p} ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 / Pb Pr 信号 : 0.7 V _{p-p} ± 2 dB、 75 Ω 終端、同期信号 : TTL レベル ハイインピー ダンス、正負極性 音声入力端子 : ステレオミニジャック、定格入力 500 mV _{rms} 、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
入力 B	HDMI 入力端子 : HDMI 19 ピン、HDCP、 HDMI audio 対応
S ビデオ入力	S ビデオ入力端子 : ミニ DIN 4 ピン、Y 信号 : 1 V _{p-p} ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、C 信号 : (バースト信号) 0.286 (NTSC) / 0.3 (PAL/ SECAM) V _{p-p} ± 2 dB、75 Ω 終端 音声入力端子 : ピンジャック × 2、定格入力 500 mV _{rms} 、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
ビデオ入力	ビデオ入力端子 : ピンジャック、1 V _{p-p} ± 2 dB、 同期負、75 Ω 終端 音声入力端子 : S ビデオ入力と共用

項目	項目説明
型名	VPL-BW120S
その他の端子	SERVICE 端子 : D-Sub 9 ピン 凹
使用温度 (使用湿度)	5 ~ 35 ℃ (20 ~ 80% (結露なきこと))
保存温度 (保存湿度)	- 10 ~ +60 ℃ (20 ~ 80% (結露なきこと))
電源	AC 100 V、3A、50/60 Hz
消費電力	290 W
待機電力	3 W (スタンバイモード「標準」時) / 0.5 W (スタンバイモード「低」時)
発熱量	990 BTU
標準外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 313.4 × 160.3 × 349.3 mm 約 313.4 × 144.9 × 349.3 mm (突起部含まず)
質量	約 3.7 kg
付属品	「付属品を確かめる」(12 ページ) をご覧ください。
別売りアクセサリ ³	プロジェクターランプ LMP-E211 (交換用)

ご注意

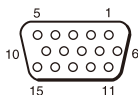
- *1 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にのっとって記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。
- *2 詳細は、対応信号表をご覧ください (49 ページ)。
- *3 ここに記載されている別売りアクセサリは、2012 年 6 月現在のものです。

本機 (別売アクセサリを含む) の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

<p>この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。</p> <p>取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。</p> <p style="text-align: right;">VCCI-B</p>
<p>本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。</p>

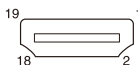
ピン配列

RGB 入力端子 (ミニ D-sub 15 ピン、凹)



1	映像入力 (赤) R	9	DDC 用電源入力
2	映像入力 (緑) G	10	接地
3	映像入力 (青) B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地 (赤用)	14	垂直同期信号
7	接地 (緑用)	15	DDC/SCL
8	接地 (青用)		

HDMI 端子 (HDMI、凹)



1	T.M.D.S. Data2 +	11	T.M.D.S. Clock Shield
2	T.M.D.S. Data2 Shield	12	T.M.D.S. Clock -
3	T.M.D.S. Data2 -	13	N.C.
4	T.M.D.S. Data1 +	14	RESERVED (N.C.)
5	T.M.D.S. Data1 Shield	15	SCL
6	T.M.D.S. Data1 -	16	SDA
7	T.M.D.S. Data0 +	17	DDC GND
8	T.M.D.S. Data0 Shield	18	+5V Power
9	T.M.D.S. Data0 -	19	Hot Plug Detect
10	T.M.D.S. Clock +		

対応信号一覧

コンピュータ信号

解像度	fH [kHz]/ fV [Hz]	入力端子	
		RGB	HDMI
640 × 350	31.5/70	●	
	37.9/85	●	
640 × 400	24.8/56	●	
	31.5/70	●	
	37.9/85	●	
640 × 480	31.5/60	●	●
	35.0/67	●	
	37.9/73	●	
	37.5/75	●	
	43.3/85	●	
800 × 600	35.2/56	●	
	37.9/60	●	●
	48.1/72	●	
	46.9/75	●	
	53.7/85	●	
832 × 624	49.7/75	●	
1024 × 768	48.4/60	●	●
	56.5/70	●	
	60.0/75	●	
	68.7/85	●	
1152 × 864	64.0/70	●	
	67.5/75	●	
	77.5/85	●	
1152 × 900	61.8/66	●	
1280 × 960	60.0/60	●	●
	75.0/75	●	
1280 × 1024	64.0/60	●	●
	80.0/75	●	
	91.1/85	●	
1400 × 1050	65.3/60	●	●
1280 × 768	47.8/60	●	●
1280 × 720	45.0/60	●	●
1360 × 768	47.7/60	●	●

解像度	fH [kHz]/ fV [Hz]	入力端子	
		RGB	HDMI
1440 × 900	55.9/60	●	●
1280 × 800	49.7/60	●	●

デジタル TV 信号

信号名	fV (Hz)	入力端子	
		RGB/ YPbPr	HDMI
480i	60	●	●
576i	50	●	●
480p	60	●	●
576p	50	●	●
1080i	60	●	●
1080i	50	●	●
720p	60	●	●
720p	50	●	●

アナログ TV 信号

信号名	fV (Hz)	入力端子
		VIDEO/ S VIDEO
NTSC	60	●
PAL/SECAM	50	●

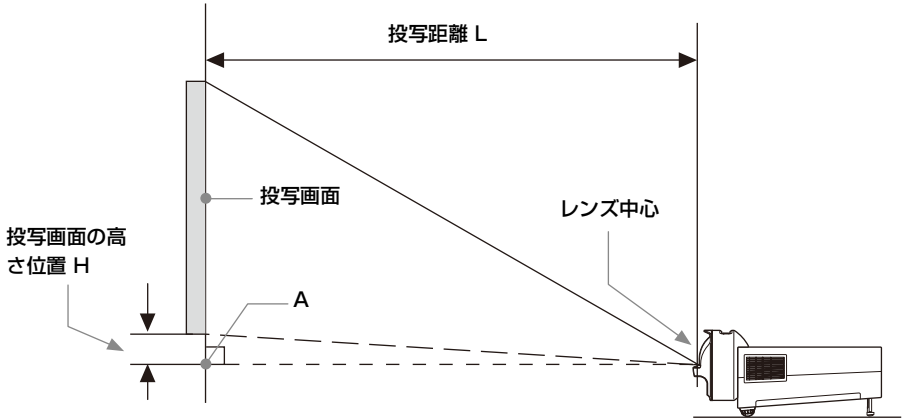
ご注意

- ・表に記載されていない信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
- ・パネル表示解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度での表示はされず、文字や罫線の太さなどが不均一となる場合があります。

投写距離

投写する画面のサイズごとの投写距離と投写画面の高さ位置を示します。投写距離は、レンズ中心から投写面までの距離です。投写画面の高さは、レンズ中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 A）から投写画面の下端（天井設置時は上端）までの距離です。

床置き設置時（後脚部（調整可）最大）



投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
50 型 (1.27m)	1.08 × 0.67	0.65	0.15
60 型 (1.52m)	1.29 × 0.81	0.79	0.18
70 型 (1.78m)	1.51 × 0.94	0.93	0.21
80 型 (2.03m)	1.72 × 1.08	1.06	0.24
100 型 (2.54m)	2.15 × 1.35	1.34	0.30

投写距離計算式

D：投写画面サイズ（対角）

H：レンズ中心からスクリーン下端までの高さ

計算式 1

単位：m

投写距離 L

$$L=0.013794 \times D - 0.0394$$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H

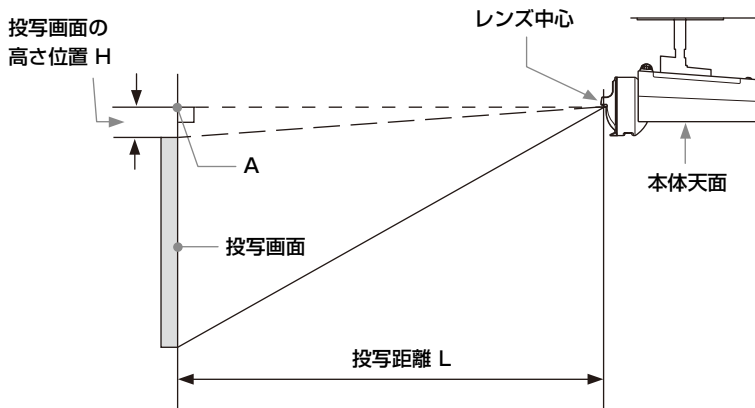
$$H=0.00296 \times D$$

その他

天井設置時（本体天面が天井と平行になるように設置）

⚠ 注意

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらないでください。必ずソニーの相談窓口にご相談ください。（有料）



投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
50 型 (1.27m)	1.08 × 0.67	0.65	0.15
60 型 (1.52m)	1.29 × 0.81	0.79	0.18
70 型 (1.78m)	1.51 × 0.94	0.93	0.21
80 型 (2.03m)	1.72 × 1.08	1.06	0.24
100 型 (2.54m)	2.15 × 1.35	1.34	0.30

投写距離計算式

D：投写画面サイズ（対角）

H：レンズ中心からスクリーン上端までの高さ

計算式 1

単位：m

投写距離 L
$L = 0.013794 \times D - 0.0394$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H

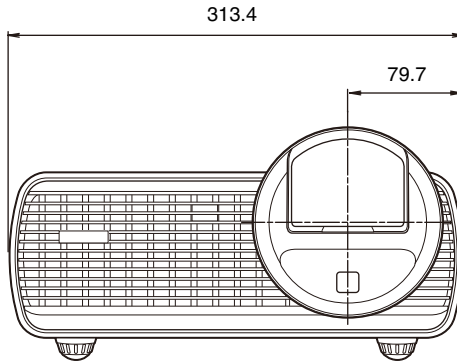
$$H=0.00296 \times D$$



その他

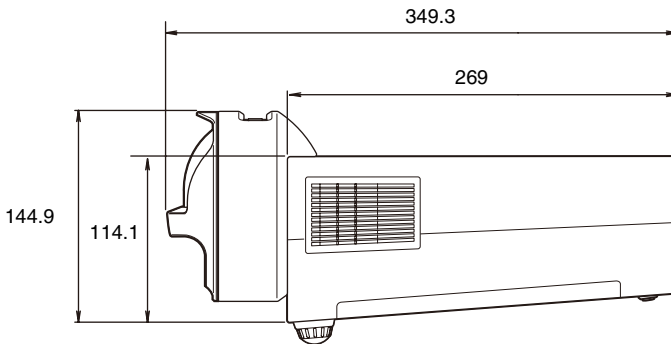
寸法図

本体前面



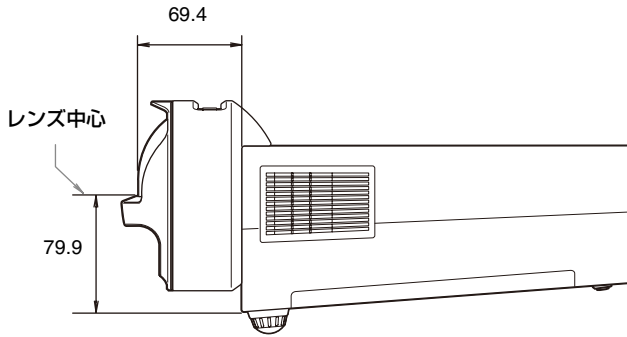
単位:mm

本体側面



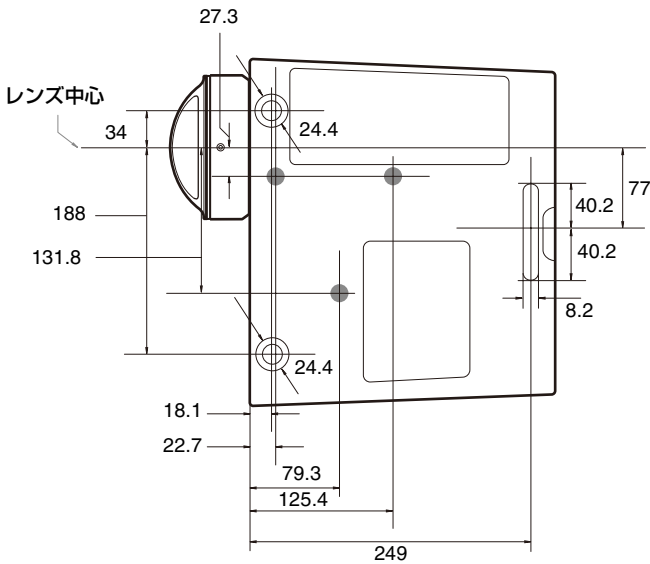
単位:mm

本体側面（天面が天井と平行）



単位:mm

本体底面



単位:mm

その他

保証書とアフターサービス

保証書

- ・ この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考に
して、故障かどうかをお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください
(裏表紙)。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも、長時間使用による消耗部品の交換は有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では本取扱説明書に記載しているすべての製品と部品（製品補修用性能部品を含む）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

製品：VPL-BW120S

製造番号：本体側面または保証書に記載されています。

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店

索引

あ

明るさ	27
アスペクト	15, 29, 31
色あい	27
色温度	27
色の濃さ	27
エアフィルターカバー／吸気口	13
エアフィルターを掃除する	45
映像を投写する	21
エコモード	16
オーディオミューテイング	16
オート入力サーチ	32
オーバースキャン	29
音量	16

か

各部の名前と働き	13
画質設定	27
画質モード	27
画像反転	35
画面表示	34
カラー方式	32
ガンマモード	27
脚調整ボタン	13, 22
後脚部（調整可）	13, 22
高地モード	35
故障かな？と思ったら	40
コントラスト	27
コンピューターとの接続	18

さ

シフト	29
シャープネス	27
仕様	46
情報	37
初期設定	32
シリアル No.	37
信号設定	29
信号の種類	37
垂直周波数	37
水平サイズ	29
水平周波数	37

スタートアップイメージ	34
スタンバイモード	36
スマート APA	32
セキュリティロック	35
接続端子	14
接続端子部	13
設置設定	35
前脚部（調整可）	13, 22

た

対応信号一覧	49
台形補正	15, 23, 35
ダイレクトパワーオン	35
デジタルズーム	16
電源コンセント	14
電源を入れる	15, 21
電源を切る	15, 24
投写距離	50
盗難防止用バー	13
盗難防止ロック	13
ドットフェーズ	29

な

入力	14
入力 A 信号種別	32
入力信号調整	29
入力を切り換える	15

は

排気口	13
パネルキーロック	32
パワーセービング	32
ピクチャーミューテイング	16
ビデオ機器との接続	19
表示言語	34
ピン配列	48
フォーカス	22
フォーカスリング	13
フリーズ	16
別売りアクセサリ	47
保証書とアフターサービス	56
本体	13
本体ボタン	15

ま

無信号入力時背景	35
メッセージ一覧	39
メニュー設定	34
メニューの操作のしかた	25
モデル名	37

ら

ランプカバー	13
ランプ使用時間	37
ランプタイマー初期化	33
ランプモード	35
ランプを交換する	43
リモコン	15
リモコン受光部	13

A

APA	15
-----------	----

C

CC ディスプレイ	33
-----------------	----

D

DDE	27
-----------	----

L

LAMP/COVER インジケーター	13, 38
--------------------------	--------

S

SERVICE	14
---------------	----

V

V キーストーン	35
----------------	----

商標について

- ・ Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- ・ HDMI、HDMI ロゴおよび High Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC 社の商標または登録商標です。
- ・ その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

